

# 星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2025 No. 74

inaokigakuen news letter



特集

がんばろう石川

新年メッセージ

星稜 Pick up

星稜アレコレ

星稜教職員バトンメッセージ

CDP 合格報告

Amitié Seiryo ～星稜の友～

総合研究所・SDGs産学地域連携センターだより

卒業生インタビュー

星稜サ・エ・ラに関する  
アンケート実施中!



回答者に抽選でQUOカードをプレゼント

## のと応援祭

6月8日(土)～9日(日)、「星稜から笑顔の架け橋を！」をスローガンに能登半島地震復興支援イベント「星稜の応援祭」を開催しました。学生団体の模擬店の利益、イベントのチケット収入、皆様からお預かりした義援金(合計1,009,393円)は、日本赤十字社石川県支部を通じて被災地に寄付させていただきました。



## ソレイユプロジェクト

### 穴水町・輪島市での復興ボランティアを実施

#### ソレイユプロジェクトとは？

「ソレイユ」とはフランス語で「太陽」という意味です。仲間と協働することで働き方の実践意識を高め、太陽のような光り輝く人間力を培うプロジェクトです。

#### 穴水町での炊き出し

初年度のテーマは「能登復興支援」です。初回は能登半島地震で甚大な被害に遭った穴水町を拠点とし、「復興炊き出しボランティア」を企画しました。3年次学生37名の有志が集結。参加学生たちは皆、「被災者の力になりたい」「若い力で被災地を生き甦りたい」など、復興への高い意欲ある学生ばかり。8月3日(土)の実施に向けて、地元で必要としている物資やニーズの聞き込みから開始し、短時間で提供できる炊き出しの調理手順の考案や広報などの準備も同時に進めてきました。ボランティア当日は猛暑の中、開始時間前から多くの地元の方が並んでくださり、炊き出し各300食(冷やしうどん、



2024年1月1日の「令和6年能登半島地震」から1年が経ちました。

稲置学園では復興に関する様々な事業およびその支援へ向けて、各設置校が様々な活動に取り組んでいます。

今号ではその取り組みの一部を、各設置校ごとに紹介いたします。

フルーツポンチ、フランクフルト)と支援物資の提供を行いました。会場に足を運んでくれた方からの感謝の声や笑顔に、「実施して良かった」「少しでも復興に携われた」と多くの学生がやりがいと達成感を感じた活動になりました。

## 再び襲った天災

まだ能登半島地震の爪痕が残る中、9月に再び奥能登地方を襲った豪雨災害。夏のソレイユプロジェクトに参加した在学生の中に、この豪雨の影響で実家が被災した学生がいました。その学生を中心に3年次学生有志5名が集まり、プロジェクトの第2弾が発足。事前調査で輪島市町野町を訪問した際に、豪雨により壊滅的な被害を受けた地元で唯一のスーパーマーケット「もとやスーパー」の本谷一知社長に話を伺いました。その際、地元住民の期待を背負って11月30日(土)に本格営業を再開するという前向きな話を受け、「オープニングイベント」の応援隊として星稜生による復興ボランティア第2弾の開催が決まりました。

## 次なる拠点は「もとやスーパー」

12月1日(日)の復興ボランティアには、28名の2年次学生が集結しました。今回のボランティアを計画した5名の3年次学生はアドバイザーとしてサポート。体が温まるような昼食の炊き出しに加え、老若男女が楽しめる縁日、支援物資の提供などを企画、約一カ月間にわたり準備を行いました。ボランティア当日はカレーうどん、豚汁、ベビーカーカステラ、飲料類など各200食を提供し、地元の方々と温かい愛情のある言葉を通じて交流しました。さらに本谷社長の復興への願いを込めた「壁画アート」の制作も行い、店のシンボルとなる太陽の絵が完成しました。

夏と冬の2回の復興ボランティアを通じた地域貢献を経て、学生たちは社会に役立つ自己成長につながりました。



## 中学サッカー部

2月24日(土)、星稜中学校高等学校サッカー場にて中学サッカー部が、能登復興交流大会「サッカーの力で能登石川に元気を！」を実施しました。星稜中学校サッカー部を含む、石川県富山県で活動する4チームで対抗戦を行いました。各チームから募った支援金を関係機関に送らせていただくなど多方面から支援をいただきました。



## チャリティー合同公演

3月9日(土)、稲置記念館5階ホールにて、能登半島地震における被災者支援の一環として、チャリティー合同公演を行いました。吹奏楽部、箏曲部、合唱部、演劇部の4つの部活動が参加し、生徒主体で企画を進めました。結果、500名を超える観客の皆様にご来場いただき、入場料の全額およびご寄付の総額326,654円は、石川県に

災害義援金として寄付させていただきました。



## 中学野球部

4月6日(土)、能登半島の学童野球10チーム・133名を招待し、星稜中学校野球場にて合同練習を行いました。中学野球部員がサポートにまわり、普



特集

私たちは  
能登を応援  
しています

# がんばろう石川

段通りの練習を楽しんでももらいました。他にも、保護者会主催の炊き出しやOBなどのたくさんの方々から野球用具やドリンクなどの差し入れをいただき、多くの支援をいただきました。

## 吹奏楽部

5月25日(土)、金沢歌劇座にて第35回定期演奏会を開催しました。吹奏楽部は幸いにも機材・練習場を含めて被害はありませんでしたが、同じく吹奏楽を愛好する多くの能登の仲間たちが被災しました。私たちも演奏を通じてできることを、と思い会場にて募金活動を行い、募金総額¥54,808を石川県に寄付いたしました。



## 高校野球部

11月23日(土)、高校野球部が輪島市南志見地区でボランティア活動を行いました。南志見地区は、能登半島地震により集落が孤立して、自衛隊ヘリによる集落丸ごと避難が行われ、ライフラインが整い始めて、住民が戻りだした矢先に豪雨被害を受けました。生徒たちは、民家や側溝の土砂撤去や、水害による流木等の撤去を行いました。



## 星稜幼稚園

### 震災園児の受け入れ

星稜幼稚園では能登半島地震で被災し金沢市に避難されている方を受け入れています。保育料・副食費等の負担は一切なく、住民票を異動せずに入園することが可能で、現在珠洲から1名の園児を受け入れています。

### 震災復興募金

「石川県認定こども園協会・日本保育協会石川県支部・石川県保育部会」がオールこども石川として能登半島地震直後から募金活動をし、星稜幼稚園では7月末までに募金総額556,607円となりました。内訳は玄関に設置した募金箱に338,659円、7月31日(水)に開催されました「能登震災復興支援夏祭り」では、募金及びチケット販売収益を含め203,948円、男☆ほしの会の焼き鳥販売収益から14,000円となり、能登のこども園・保育園・幼稚園の支援・復興に役立てていただこうと全額寄付いたしました。



特集

私たちは  
能登を応援  
しています

## がんばろう石川

## 星稜泉野幼稚園

### 震災園児の受け入れ

1月中旬に、輪島の幼稚園に通っていたA君の受け入れをしました。制服や通園バックなどの備品をお貸しし、負担がからないように配慮しました。工作が好きなA君は、すぐにクラスにも馴染みお友達と一緒に楽しく過ごしていました。担任の家族が被災していることを話すとA君は共感し当時のことを話してくれました。保護者の了解を得て、A君にお友達の前で話してもらうと「すごく揺れて怖かった。がたがたがたっていったんだ」と話し、クラスのお友達は自分たちよりもA君は怖い思いをしたことを感じたようでした。お部屋で「あさいち」の絵本を読んだとき「おばあちゃんのお友達が朝市をしていた」と教えてくれました。金石で朝市が行われたとき、会いに行くことを楽しみにしていたA君でした。2カ月はどの短い間でしたが、A君は幼稚園でお友達と楽しく過ごし輪島に帰られました。



### 秋祭り

11月22日(金)、秋祭りを行いました。ドーナツやジュースなどの模擬店のほかに、給食室からはからあげと手作りクッキーを販売しました。収益の一部を募金したいと保護者の方へお伝えすると、手作りの品の販売や園児のヘアアレンジなどに参加してくれました。指輪やネックレス、髪飾りなどのかわいいアクセサリや手作り絵本はとても好評でした。ヘアアレンジ担当の保護者の方は、午前中から秋祭りが始まるギリギリまでの長い時間、一人ひとりの子どもたちをかわいい髪型にアレンジしてくださいました。

また、ドーナツ屋さんにお勤めの保護者の方のご厚意で、店舗よりも安くドーナツを仕入れさせていただきました。皆さんの温かい気持ちに伝わる秋祭りになりました。収益の一部を、石川県保育部会の方に寄付しました。



# 新年メッセージ



新年あけましておめでとうございます。

昨年元旦に発生しました能登半島地震から1年が経ちましたが、いまだ生活の再建や生業の立て直しに至らない多くの方々がいらつしやいます。また9月には奥能登地域を豪雨が襲い、地震からの復興に向かっていた地域に更なる被害をもたらしました。

能登半島地震による被害は、本学園の教職員並びに学生、生徒等にも及ぼし、さらに学園の施設設備にも甚大な被害をもたらしました。施設設備などの多くについては地域の皆様や取引企業のご協力により早期に復旧し、教育・研究活動を従前のとおり継続することができました。改めて御礼申し上げます。

しかしながら、稲置学園としては各設置校の教職員と共に被災に遭われた方々の心情に寄り添い、その支援活動に今後とも尽力してまいる所存でございます。

さて、学園の各設置校の昨年1年間を振り返ってみますと、金沢星稜大学ではこの度の震災に對して、事業計画の中に新たに「能登半島の創造的復興とともにあゆみ、地域創生に貢献する全学的な取り組みを推進する」との目標を掲げ、学生や教職員は能登地域において被災した幼児の保育補助や生徒たちの学習支援に協力し、そして災害ボランティア活動や炊出しなどを積極的に実施するとともに、学内では「創造的復興論」という授業科目の開講や「のち応援祭」の開催など、能登に寄り添う様々な活動を行ってまいりました。教育面では昨年4月に経済学部新たに地域システム学科を設置し、従来の経済学科、経営学科に加え3学科体制をスタートさせました。さらに、この4月には人文学部国際英語学科を新設し、国際文化学科との2学科体制となります。

金沢星稜大学女子短期大学部では、少子化や全国的な短大離れの状況の下で金沢星稜大学経済学部所属していた岸本秀一教授が学長に就任し、新たな学長のリーダーシップの下、この難局に對して教職員一丸となり挑んでおります。

星稜中学、星稜高校では、今年4月から始まる新たな中高一貫教育体制に向けて、学内では従来の教育体制の再編を行うとともに、学外に對しては積極的な広報活動を展開してまいりました。来年度の新入生がどんな期待をもって入学してくるのか、今から楽しみです。スポーツ競技では、トランポリン部の全国高校総合体育大会での男子団体優勝や陸上部の高校総合体育大会及びジュニアオリンピックでの目覚ましい活躍が光りますが、生徒の課外活動を積極的に推進する星稜の風土の下、それぞれの活動が生徒の心身の成長を支えていると思います。

星稜幼稚園、星稜泉野幼稚園は急速に進行する少子化による影響を大きく受けておりますが、総合学園ならではの教育・保育モデルの確立を目指し、特に星稜幼稚園では、新たに基本理念として「道しるべとなる星になろうーひとりひとは輝く特別な星」を掲げ、行動指針も決めました。また昨年10月に、石川県の認定こども園などが主催した幼児教育や保育に関する国際シンポジウムにおいて、0歳からの教育や保育に関して世界的な権威であるオックスフォード大学のエドワード・メルウィツシュ名誉教授の視察地に星稜幼稚園が選定され、その保育施設や保育方法に關して高い評価を得ることができました。

昨年は、幼稚園から中学・高校、そして、短期大学部・大学・大学院へとつながる星稜の教育や教育外活動の実践を実感した1年でありました。今年も教育の連環が続くことを願っております。最後となりますが、被災地の一日もはやい復興を心からお祈り申し上げるとともに、稲置学園の今年1年の活躍を見守っていただければありがたく存じます。

## J3「アスルクラロ沼津」へ入団

### 金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科4年次 井出 龍志さんへインタビュー

入団が決まった時の心境について教えてください

沼津のユース時にトップ昇格ができなかったときから今に至るまで、沼津に帰ることだけを考えて大学4年間を費やしてきたのでとても嬉しい気持ちでいっぱいです。と同時にやっとスタートラインに立てたという気持ちです。

サッカー部での活動を通して、成長したことや得たもの等を教えてください

プロセスの大切さを学びました。必ずしも結果として出ることはありませんが、プロセスを作ることによって自信を持ってピッチに立つことができ、自分を信じることでできる唯一の武器であることを学びました。

大学での一番の思い出を教えてください

大会や選抜などでの勝ち負けも思い出としてありますが、一番の思い出はサッカー部の同期9人と過ごした日常です。練習が終われば、筋トレをして、分析をして、次の日の練習メニューを考えるという当たり前であった日常がとても楽しかったです。

応援してくれるファンや支えてくれる人たちへ一言お願いします

4年間お世話になった小松崎監督や自分に関わってくれた全ての人に結果で恩返しします。攻守にアグレッシブに走り闘いますので応援よろしくお願いします。



星稜幼稚園の課外活動「星稜U-6FC」で「りゅうコーチ」として指導もしています。

## ★ 留学生日帰りツアー in 福井

10月20日(日)、留学生向け日帰りツアー(1 Day Trip)を開催しました。今回は福井県の「永平寺」と「イオンモール白山」を訪れました。

永平寺では、修行僧が掃除やお勤め(日中廻経)している様子を見ることができ、日本で一番厳しいと言われている修行寺の雰囲気を楽しみました。イオンモール白山では昼食を取り、思い思いのお店で買い物を楽しんでいました。中国・台湾・ロシアからの留学生15人が参加し、お互いの仲をさらに深める良い機会となりました。



## ★ 留学生ウェルカムパーティーを開催

10月4日(金)、本学グローバルコモンズ2F、ラーニングコモンズにて留学生のためのウェルカムパーティーが開催されました。

後期から新たに来学した、台湾、中国、ロシアからの留学生14名と、日本人学生および教職員総勢50名が参加しました。最初に、アイスブレイクゲームとして、星稜アンバサダーズが企画した「じゃんけん列車」と「ラインナップゲーム」を行いました。留学生は日本語で、「じゃんけんぽん」と上手に言いながらゲームを楽しんでいました。



## ★短大★ MOONSHOT講座

8月7日(水)、9月17日(火)・19日(木)の計4日間、就職活動対策講座を実施しました。今年はインターシップや就職活動の準備を夏休み期間に取り組めるように、夏休みの初日と終盤に実施しました。大学短大部合わせて総勢54名の学生が参加し、就職活動に向けて実践的なスキルを学びました。MOONSHOT講座では、学外からプロの講師を招き、身だしなみや立ち居振る舞い、面接におけるマナーなど基礎から応用まで徹底的に磨き上げます。さらに、グループディスカッションや模擬面接を本番に近い形式で実践的に練習します。自身が目標とする進路の実現に向けて、大学・短大部の垣根を越えて参加者同士で高め合っている姿が見られ、充実した講座となりました。



## ★短大★ 5年ぶりに海外へ！ ほし☆たび2024 in KOREA

8月21日(水)・25日(日)、4泊5日の就職合宿クルーズ「ほし☆たび2024 in KOREA」を実施しました。目的地は5年ぶりの海外KOREA！初の韓国釜山です。大学1・2年次13名、短大部1年次11名のクルーと就職活動を終えた大学4年次・短大部2年次の5名のスキッパー、併せて29名が大阪港から乗船しました。船上では「海を越え、ジブンを超える」のテーマの下、グループディスカッションを通じてプレゼンテーション力の向上や論理的思考を高める研修を行いました。釜山に到着後は、学生各自で考えたプランで釜山市街を散策したり、観光地に行ったりとフリータイムを過ごしました。参加学生の大半が初めての海外という中で、日本とは違う文化や食に触れ、現地の人と出会い、自分探しの夏旅を終えました。



## ★短大★ MOONSHOT abroad!! フィリピン・セブ島での短期語学留学

9月1日(日)・15日(日)の2週間に大学8名、短大部4名合計12名の学生が参加しました。平日は語学学校で英語の授業を受け、週末には現地で日本人が経営する寺子屋の訪問やジンベエザメと泳ぐツアーなど、日本では味わえない経験をしました。海外経験を通して、グローバルな体験から異文化を理解し海外に對してのタフネスを身につけたり、様々な人と交流することで自分らしさやキャリアについてより深く考えたりすることができました。



## ★短大★ 流星祭「翔！昇！笑！」を開催 ～石川県全体を元気に！そして笑顔に！～

11月2日(土)・4日(月)の3日間にわたり、第23回流星祭を開催しました。大地震、豪雨という大規模災害に見舞われた被災者の方々をはじめ石川県全体を元気に！そして笑顔に！という思いから、今回のテーマは「翔！昇！笑！」になりました。初日は悪天候のため、朝から予定していた屋外の模擬店の設営ができず、また15時からの予定だった前夜祭も中止にせざるを得ませんでしたが、降り続いた雨は夕方上がり、模擬店用のテントを一気に設置し開店準備を開始、翌朝からの営業開始に間に合いました。2日目と3日目は、初日の荒天から一転、少し肌寒いながらも好天に恵まれ、期間中約4000人の方にご来場いただきました。

今回はゲストに、若者に人気のロックバンド「ヤングスキニー」、実力派お笑いコンビ「さらば青春の光」、令和の歌まねヒロイン「よよちゃん」の3組をお迎えし、例年以上に盛況となりました。ステージでは音楽系とダンス系のクラブ・サークルが日頃の練習の成果を披露。また毎年恒例のブライダルファッションショー、着物ファッションショーも開催し、素敵な衣装とアクセサリーを身にまといステージに上がった学生たちは普段と違った表情を見せ、観客を魅了しました。

そのほか、模擬店は30店舗が出店、屋内にはこどもパーク、お化け屋敷、親子で参加できるワクワク科学教室、お茶会、VRとドローンを体験できる企画などがあり、お子様連れのご家族にも楽しんでいただきました。

たくさんの方の笑顔があふれた3日間となり、ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。



## 短 福井の魅力発見アクトを実施しました！

北陸新幹線延伸で賑わう福井県を舞台としたSei-Tan Act「福井の魅力発見アクト」を8月25日(日)・26日(月)に実施し、14名が参加しました。

1日目は南越前町にある今庄そば道場でそば打ちを体験した後、若狭町に移動し若狭湾でシーカヤックにも挑戦しました。ガイドから講習を受けた後に2人1組でカヤックに乗り込み、海風と波を全身で感じながら、冒険気分でシーカヤックを満喫しました。

2日目は坂井市の越前松島水族館を訪問し、館内をまわりながら「みて・ふれて・楽しく学べる水族館」の魅力を調査しました。福井県の自然を五感で楽しみながら様々な発見と学びを得た充実の2日間を過ごしました。



## 短 テーブルマナー体験をしました！

9月11日(水)、「Sei-Tan Act」テーブルマナー体験を開催し、23名が参加しました。

就職先の食事会や結婚披露宴への出席を想定したテーブルマナーということで、学生たちは会場への入り方、着席の動作、グラスの持ち方や乾杯の所作、ナフキンやカトラリーの扱い方を実際の食事シーンに沿って教わりました。最初は緊張した面持ちでナイフやフォークを扱っていましたが、徐々に慣れてきた様子で表情もやわらぎ、次々と運ばれてくる本格的な西洋料理に笑みがこぼれていました。ホテルスタッフの方からはテーブルマナーの起源や歴史、その移り変わりもわかりやすく解説いただき、所作だけでなく知識も取り入れることができた今回の体験。今後様々な方と食事をする機会が増える学生たちにとって、気品のある振る舞いだけでなく、一緒に食事を楽しむ周囲への心配りも学ぶことができました。



## 短 秋の星短運動会を開催しました！

10月12日(土)、体育館メインアリーナで星短運動会を開催し、元気いっぱい体を動かしました！1、2年次混合でチームを編成し、赤、緑、青、黄の4チームに分かれて借り人競争、玉入れ、綱引き、リレーを実施。それぞれのチームが団結して勝負に挑み、掛け声や歓声、そして笑い声が響き渡りました。主催した学友会から参加学生に向けて、そして参加学生からこの日のために準備してきた学友会に向けて感謝の言葉をかけ合う姿も見られ、学生たちの様々な表情に出会える1日となりました！



## 短 着物でひがし茶屋街を散策・金箔貼りを体験しました

11月7日(木)、「Sei-Tan Act」着物の着付け・金箔体験を開催し、29名が参加しました！兼六園近くの「金沢きもの花恋」を訪れた学生たちは、店内に並んだ色鮮やかな着物、帯、小物からお気に入りのスタイルを見つけ出し、着付けを体験。着付け後にひがし茶屋街に移動、茶屋街の一角にある「宇多須神社」を参拝した後、「かなざわ美かざりあさの」を訪問。赤色の小物入れに、金沢の伝統工芸品「八幡起き上がり」や金沢の冬の風物詩「雪吊り」などがデザインされたシールを配置して金箔を貼る体験に参加しました。冬のはじまり「立冬」を肌で感じる気候の中での実施となりましたが、風情あふれる茶屋街で観光客の方々と交流しながら、地元金沢の魅力と伝統文化を改めて学ぶ機会になりました。



## 大 国際大会・全国大会出場！

第79回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会・第66回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会ソフトテニス部

伊藤 叶愛(こども学科2年次)

植野 莉子(スポーツ学科2年次)

轡田 愛(経済学科2年次)

佐野 愛里紗(スポーツ学科2年次)

高松宮記念杯男子第67回令和6年度(2024年度)全日本学生ハンドボール選手権大会

ハンドボール部男子

第78回国民スポーツ大会

トランポリン部

豊後 輝道(スポーツ学科4年次) 石川県代表

山崎 凌空(スポーツ学科3年次) 北海道代表

美田 靖文(スポーツ学科2年次) 大阪府代表

第61回全日本トランポリン競技選手権大会

トランポリン部

井関 駿太(スポーツ学科4年次)

秦 颯士(スポーツ学科4年次)

豊後 輝道(スポーツ学科4年次)

山崎 凌空(スポーツ学科3年次)

伊吹 千夢(スポーツ学科2年次)

木村 心春(スポーツ学科2年次)

美田 靖文(スポーツ学科2年次)

今本 修成(スポーツ学科1年次)

澤田 守杏(スポーツ学科1年次)

都竹 奏翔(スポーツ学科1年次)

第77回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会

男子バレーボール部

第3回全日本大学準硬式野球東西対抗日本一決定戦甲子園大会

準硬式野球部

飯倉 和也(経済学科4年次)

第42回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会

準硬式野球部

飯倉 和也(経済学科4年次)

卵野 雄作(こども学科1年次)

## ★ 1年生Aコース エンパワーメントプログラムを 開催しました！

7月29日(月)から5日間、エンパワーメントプログラムを開催しました。海外の学生を加えた少人数グループでのオールイングリッシュの活動により、コミュニケーション能力の向上をはかります。最終日にはテーマに沿って考え創造する活動を通して互いへの理解を深めるためのプレゼンテーションを行いました。



## ★ 高2A・一貫理数コース 関西方面大学見学会を 実施しました！

8月8日(木)・9日(金)、2年生A・一貫理数コースの希望生徒を対象に関西方面大学見学会を実施しました。1日目は京都大学のオープンキャンパスに参加し、夕食時には本校OGである京都大学卒業生のお話を聴く機会を持ってしました。2日目は大阪大学・神戸大学のオープンキャンパスに参加する生徒と、3名の本校OBである神戸大学生との星稜独自のキャンパスツアーに参加する生徒に分かれて活動しました。



## ★ 第63回星稜高等学校運動会を 行いました。

9月27日(金)、秋晴れの中、第63回星稜高等学校運動会を行いました。2年ぶりに開催された運動会では、大縄跳びや借り人競争、クラス対抗リレー＆部活動対抗リレーなど、熱戦が繰り広げられました。生徒たちは一生懸命競技に取り組み、笑顔あふれる素晴らしい運動会となりました。



## ★ 1年生中高一貫理数コース オーストラリアからの 中高生と交流会

9月30日(月)、研修旅行で来日しているオーストラリアの中高生と交流しました。金沢星稜大学女子短期大学の学生も交え昼食を一緒にとった後、中学ESS部員と校舎を案内しました。日本語を学んでいるオーストラリアの生徒もいたため、互いに日本語と英語を駆使しコミュニケーションを図っていました。自ずと歌やダンスの披露が始まるくらい会話が弾んだようで、誰もが終始笑顔で心温まる時間を過ごしました。



## ★ 1・2年生 関東方面大学見学会を 実施しました！

8月7日(水)・8日(木)、1・2年生B、一貫理数コースの希望生徒を対象に関東方面大学見学会を実施しました。1日目は見学地に分かれ、各大学での卒業生の案内の中、慶應義塾大学・お茶の水女子大学・東京外国語大学・東京工業大学・東京農工大学を見学しました。2日目は早稲田大学の見学、そして東京大学では卒業生との座談会もあり、生徒たちの進路への写真真がより鮮明に描かれたようでした。



## ★ 第63回星稜祭 みんなで楽しみ、 仲間の輪を広げる♪が開幕！

9月5日(木)・6日(金)、第63回星稜祭を開催しました。1年生はフォトスポット制作、2年生はステージ発表、3年生はクラステナントを実施しました。校内では文化部の展示作品が彩り、稲置講堂では星稜祭実行委員らによるオープンイベントやBTE A SHOCKのライブで盛り上がりを見せていました。2日間を通して、クラス間はもちろん学校全体の輪が更なるものになったのではないのでしょうか。



## ★ 1年生 イングリッシュキャンプ実施！

9月4日(水)・6日(金)、外国人講師を招いてオールイングリッシュで3日間を過ごすイングリッシュキャンプを実施しました。1日目はセッションを通してコミュニケーション能力の養成を中心としたプログラムで、各グループに分かれて簡単なゲームや自己紹介を通して英語の楽しさ、魅力を改めて感じることでできました。積極的に講師の方々や話したり質問したりと、どの教室も楽しそうな声であふれていました。

2日目は、ひがし茶屋街を訪れ、外国人講師の方々と英語で案内しました。7月に案内する場所を下見し、紹介文を英文で考案した生徒たち、その場でアドリブも加えて講師の方々に熱心に伝えていました。最終日は、この2日間で学んだこと、今後に生かしたいことなどについて、数人のグループで発表を行いました。昨日から準備に取り掛かっていた生徒たちは、発表直前まで話し合い、修正を繰り返し、より良いものにしてようと奮闘していました。修了式後には「これからもっと英語を勉強したい」「英語は覚えるだけでなく使うことが大事と分かった」と話していました。



## 中 2年生 宿泊体験を行いました。

9月4日(水)・5日(木)、宿泊体験を行いました。1日目は羽咋市ののと里山農業塾研修センターにて、大根の種まきや草刈りなどの農業体験をしました。普段口にしていない野菜が育つにはたくさんの工程があること、農家の方が手をかけて大切に育ててくださっていることを知りました。マイスプーン作りや野外炊飯なども行い、食べられることは当たり前ではないことを感じられる1日となったようです。2日目は希望ごとに分かれて、国立能登青少年交流の家ではカヌー、カッター、いかだ体験を、羽咋市の永光寺では座禅体験をしました。普段の学校生活ではできない体験を通して、自分に打ち勝つこと、仲間と協力して目標を達成することを学びました。



## 中 ミニ星稜祭を行いました！

10月4日(金)・5日(土)、前期生徒会の発案によりミニ星稜祭を行いました。稲置講堂ではダンスや未成年の主張を行い、校舎では射的、サッカーボール、脱出ゲーム、算数ボードゲーム、短編映画上映など数多くのテナントを企画しました。生徒たちはテナントの運営をクラスメイトと協力しながら、各テナントを思いっきり楽しんでいました。



## 中 3年生 修学旅行に行ってきました！

9月4日(水)・6日(金)、修学旅行を行いました。初日は広島からフェリーで宮島へ行き、厳島神社を訪れた後、班ごとに分かれて宮島散策を行いました。その後訪れた平和記念公園をガイドの方に案内いただき、戦中戦後の広島について学ぶことができました。歴史や文化、平和の大切さを改めて感じた1日目となりました。2日目は広島平和記念資料館を見学しました。大阪へ移動後は、各コースに分かれて企業訪問に行きました。ものづくりの現場を間近で見た生徒たちはこれからの未来に向けて刺激を受けているようでした。最終日はユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行きました。3日目の疲れを感じさせない軽やかな足取りで、近づくにつれて歓喜をあげる生徒たちは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを全力で楽しむことができました。



## 中 運動会を行いました！

10月15日(火)、稲置学園総合運動場において『第52回運動会』を行いました。縦割り、赤・青・黄の3色の団に分かれて全11種目を行い、応援合戦や綱引き、チーム対抗リレーなど熱戦が繰り広げられました。学年関係なく力を合わせて協力している姿から、本校の団結力を改めて感じることができました。



## 中 高 7月からの主な部活動成績

### 【星稜高等学校】

- 第44回 石川県高等学校総合文化祭
- 第76回 石川県高等学校演劇合同発表会
  - ・最優秀賞
- 第106回 全国高等学校野球選手権 石川大会
  - ・第2位
- 第72回 石川県吹奏楽コンクール
  - ・銀賞
- 令和6年度 全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
- 秩父宮賜杯第77回 全国高等学校陸上競技対校選手権大会
  - ・男子100m 第2位 清水 空跳
- 第91回 NHK全国学校音楽コンクール石川県コンクール
  - ・銅賞
- 石川県高等学校バドミントン大会 学校対抗戦
  - ・女子学校対抗 第3位
- 第49回 全国高等学校トランポリン競技選手権大会
  - ・男子団体競技 第1位 赤石 泰雅、田山 雄貴、長谷川 碧人、松岡 龍吾
  - ・男子シンクロナイズド競技 第2位 赤石 泰雅、田山 雄貴
  - ・男子個人競技 第2位 番所 駿斗
  - ・男子個人競技 第3位 松岡 龍吾
  - ・女子団体競技 第3位 大藤 彩、南 栞奈、塚本 莉子
  - ・女子シンクロナイズド競技 第3位 天内 李音
  - ・女子個人競技 第5位 大藤 彩、塚本 莉子
- 第66回 石川県合唱コンクール
  - ・高等学校部門 Aグループ 銅賞
- 第32回 石川県高等学校音楽コンクール
  - ・第2位 竹田 夏姫
  - ・優良賞 吉田 勝哉
- 第21回 石川県ジュニアゴルフ選手権
  - ・男子15歳～17歳の部 第3位 濱谷内 俊太
- 第27回 JOCジュニアオリンピックカップ U16陸上競技大会 石川県予選会
  - ・1000m 第1位 川合 優那
  - ・三段跳 第1位 荏安 渉
- 第68回 北陸陸上競技選手権大会
  - ・女子走幅跳 第3位 喜多 陽香
  - ・女子4×100mR 第2位 喜多 陽香、表 陽向、石本 愛佳、清水 あさみ

### 第51回 石川県トランポリン競技選手権大会

- ・男子の部 第3位 番所 駿斗
- ・男子の部 第4位 松岡 龍吾
- ・男子の部 第6位 長谷川 碧人
- ・女子の部 第6位 大藤 彩

### 第38回 金沢地区高等学校弓道大会

- ・男子団体 第2位

### 第66回 加賀地区剣道大会

- ・団体高校男子の部 第1位
- ・個人高校男子の部 第3位 池田 遼

### 令和6年度 石川県高等学校新人体育大会

### 第66回 石川県高等学校新人陸上競技大会

- ・男子トラック競技 第1位
- ・男子フィールド競技 第1位
- ・男子総合 第1位
- ・男子110mH 第2位 吉田 虎ノ介
- ・男子800m 第2位 荏安 渉
- ・男子800m 第3位 森 幸翔
- ・男子1,500m 第2位 水谷 慧士
- ・男子1,500m 第3位 徳山 潤
- ・男子3,000mS.C 第3位 森永 宇宙
- ・男子5,000m 第3位 櫻井 水麗
- ・男子5,000mW 第2位 大乗 龍之介
- ・男子三段跳 第3位 吉森 匠
- ・男子やり投 第1位 横川 徹成
- ・男子やり投 第3位 門田 育知
- ・男子円盤投 第2位 門田 育知
- ・男子砲丸投 第1位 門田 育知
- ・男子八種競技 第3位 川村 亮太
- ・男子4×100mR 第2位 直江 健之介、横川 徹成、菊田 楓、吉森 匠

### 女子トラック競技

- ・女子総合 第1位
- ・女子100m 第2位 清水 あさみ
- ・女子200m 第1位 石本 愛佳
- ・女子200m 第2位 清水 あさみ
- ・女子400m 第1位 石本 愛佳
- ・女子800m 第1位 中村 沙耶
- ・女子800m 第2位 松山 桜彩
- ・女子1,500m 第1位 辻本 ひまり
- ・女子1,500m 第2位 福井 悠妃
- ・女子3,000m 第3位 久田 心希
- ・女子5,000mW 第1位 北川 結菜

- 女子5,000mW
- 女子走幅跳
- 女子走幅跳
- 女子七種競技
- 女子4×100mR
- 女子4×400mR
- ・第3位 五所村 アコ
- ・第1位 石本 愛佳
- ・第3位 表 陽向
- ・第2位 谷口 依吹
- ・第1位 松井 想依、表 陽向
- 石本 愛佳、清水 あさみ
- ・第1位 中村 沙耶、松山 桜彩
- 辻本 ひまり、石本 愛佳

#### 第27回石川県高等学校新人ゴルフ選手権大会

- 男子個人の部
- 女子個人の部
- ・第3位 宮坂 知宙
- ・第3位 戸澤 紗希

#### 高校生ポスターセッション

(日本地球化学会、金沢大学環日本海域環境研究センター主催)

- ・優秀ポスター賞 中橋 香々莉、大沼 美旺
- 中川 真志、吉田 旭輝
- 小松崎 結衣

#### 令和6年度 石川県高等学校新人大会 テニス競技

- 男子団体
- ・第3位 川西 由人、神佐 惇、一瀬 日向
- 西野 慶、坂内 亮太、高橋 陽景
- 前田 亮成、澤本 直輝、萩沢 勇斗
- ・第3位 川西 由人
- 男子シングルス
- ・第3位 川西 由人

#### 第55回U16陸上競技大会

- 男子100m
- ・第1位 清水 空跳

#### 第18回U18陸上競技大会

- 女子1500m
- ・第5位 道見 日和

#### 令和6年度 石川県高等学校新人体育大会 ソフトボール競技

- 男子の部
- ・第2位

#### 第29回 北信越高等学校新人陸上競技大会

- 男子砲丸投
- 女子400m
- 女子5,000mW
- 女子5,000mW
- ・第1位 門田 育知
- ・第4位 石本 愛佳
- ・第1位 北川 結菜
- ・第4位 五所村 アコ

#### 第33回 全国高等学校文化連盟 将棋新人大会石川県大会

- 男子
- 男子
- ・第3位 福田 瑛二
- ・第3位 畠 爽流

#### 令和6年度 第103回 全国高等学校サッカー選手権大会石川県大会

- ・第3位

#### 第29回 北信越高等学校新人陸上競技大会

- 男子800m
- 男子800m
- 男子やり投
- 男子円盤投
- 男子砲丸投
- 女子100m
- 女子200m
- 女子200m
- 女子400m
- 女子5000mW
- 女子5000mW
- 女子4×100m
- ・第4位 荻安 渉
- ・第5位 森 幸翔
- ・第4位 横川 徹成
- ・第1位 門田 育知
- ・第1位 門田 育知
- ・第5位 清水 あさみ
- ・第6位 清水 あさみ
- ・第8位 石本 愛佳
- ・第4位 石本 愛佳
- ・第1位 北川 結菜
- ・第4位 五所村 アコ
- ・第4位 松井 想依、表 陽向
- 石本 愛佳、清水 あさみ

#### 石川県高等学校空手道新人大会

- 男子団体組手(3人制)
- 男子団体形
- 男子個人組手E級
- 男子個人組手C級
- 女子団体組手(3人制)
- 女子個人組手E級
- ・第1位
- ・第3位
- ・第2位 加藤 涼太
- ・第3位 上谷 結緒
- ・第1位
- ・第1位 寺西 瑚雪

#### 第44回 石川県高校囲碁 秋季大会

- 男子団体戦
- Aリーグ
- Aリーグ
- ・第1位 高木 太郎、小早川 拓海
- 澤本 直輝
- ・第2位 小早川 拓海
- ・第3位 高木 太郎

#### 令和6年度石川県高等学校文化連盟 秋期「高校生の美術展」

- 平面の部
- ・優良賞 210ホーム 渡邊 さくら

#### 令和6年度 石川県高等学校総合体育大会

#### 第75回全国高等学校男子駅伝競走選手権大会 石川県予選会

- 総合
- ・第3位

#### 令和6年度 石川県高等学校総合体育大会

#### 第36回全国高等学校女子駅伝競走選手権大会 石川県予選会

- 総合
- 第1区6km 区間賞
- 第3区3km 区間賞
- 第4区3km 区間賞
- 第5区5km 区間賞
- ・第1位 辻本 ひまり
- ・第1位 松山 桜彩
- ・第1位 久田 心希
- ・第1位 道見 日和

#### 第18回 中部日本個人重奏コンテスト石川県大会

- ・銅賞 亀塚 柚月

#### 令和6年度 石川県高等学校新人体育大会 バドミントン競技

- 女子学校対抗
- ・第3位

#### 第4回 邦楽新人演奏会兼全国総合文化祭出場校選考会

- 箏曲部門
- ・最優秀賞

#### 令和6年度 石川県高等学校 かるた選手権大会

- Ⅲ部
- ・第1位 進藤 美杜

#### 令和6年度 石川県高等学校 新人体育大会 サッカー競技

- 女子の部
- ・第2位

#### 令和6年度 石川県高等学校新人体育大会 トランポリン競技

- Aクラス個人男子
- Aクラス個人男子
- Aクラス個人男子
- Aクラス個人女子
- Aクラス個人女子
- ・第1位 神山 空駕
- ・第2位 長谷川 碧人
- ・第3位 田山 雄貴
- ・第1位 南 栞奈
- ・第3位 塚本 莉子

#### 令和6年度 石川県高等学校新人体育大会 弓道競技

- 個人女子の部
- ・第2位 岡田 空夏

#### 令和6年度 石川県高等学校 新人体育大会 サッカー競技

- 男子の部
- ・第1位

#### 第32回 石川県高等学校野球1年生大会

- ・第3位

#### 令和6年度石川県高等学校バレーボール新人大会

- 女子
- ・第3位

#### 北信越高等学校かるた選手権大会

- 石川県Aチーム
- ・第2位 忍久保 乃梓

#### 【星稜中学校】

#### 令和6年度全国中学校体育大会 第55回全国中学校サッカー大会

- ・ベスト16

#### 第41回全日本少年軟式野球大会ENEOSトーナメント

- ・第3位

#### 金沢市早朝野球協会会長旗争奪 第24回金沢市中学校野球大会

- ・第1位

#### 令和6年度 金沢市中学校秋季新人大会 サッカー競技

- ・第2位

#### 令和6年度 金沢市中学校秋季新人競技大会 軟式野球競技

- ・第1位

#### 金沢市中学校新人陸上競技大会

- 男子1年1,500m
- 女子1年800m
- 女子共通3,000m競歩
- ・第2位 宗藤 舜
- ・第3位 春山 燎里
- ・第3位 横山 莉沙子

#### 加賀地区中学校新人体育大会

- 1年男子走幅跳
- 男子走高跳
- 1年女子800m
- 女子800m
- ・第5位 宗藤 舜
- ・第7位 森 然次郎
- ・第4位 春山 燎里
- ・第8位 横山 莉沙子

#### 第69回加賀地区中学校新人野球大会

- ・第1位(Aブロック)

#### 令和6年度 第24回 石川県中学校新人サッカー大会

- ・第3位

#### 石川県野球協会会長旗争奪 第25回中学校軟式野球選手権大会

- ・第1位



子どもたちは、ますます意欲的に周りの環境に関わるようになってきました。目の前の遊びに集中することで物の性質や特性を発見し、様々な物の色や形、大きさの違いに気づいていきます。お月さまに積み木を積むバランスゲームや、ロディで遊ぶには、バランスをとる必要が生まれます。砂をバケツやカップにいれたり、ロープの位置を確かめながら高いところに上ろうとしたりするには、手足の細かい調整が必要です。「やってみよう」という気持ちで芽生える時、「やりたいのに、うまくできない」と感じながら何回もトライする時、子どもたちの心の中には『成長の芽』がぐんと伸びています。子ども自らが働きかけたくなる環境を考え、保育士もワクワクしながら見守っています。



☆「やってみよう」が  
いっぱい!! ☆



## ☆乳幼児教育・保育 国際シンポジウム☆

10月16日(水)に国際シンポジウムのプログラムの一つとして、星稜幼稚園の公開保育と研修が行われ、世界的な教育学者であるオックスフォード大学エドワード・メルウィッシュ名誉教授の視察を受けました。エドワード・メルウィッシュ名誉教授は就学前教育の効果的な実践・調査研究に取り組み、イギリスのみならず各国の乳幼児教育・保育、子どもの貧困、保護者支援等の政策に大きな影響を与えています。現在はオックスフォード大学教育学部(人間開発学)名誉教授に加えて、ロンドン大学バーベック校名誉教授、オスロ・メトロポリタン大学名誉教授でもあります。

午前、星稜幼稚園では石川県の認定こども園・幼稚園・保育園からの参加の他、大学教員・学生の参加もありました。午後からの研修会では星稜幼稚園の教育・保育について講評をいただき、メルウィッシュ教授から「建物のすばらしさ、そのスペースの使い方、子どもたちが遊ぶ遊具や使うマテリアルがとても優れています」と物質的に優れていること。それよりさらに優れていた2つ目として、「先生と子どもたちの間に素晴らしい交流がなされていたこと」と話され、とても感銘を受けたと評価していただきました。印象的な交流として、「子どもたちが自身が自己調整して自分のやりたいものを選ぶ自分をコントロールできる環境にあり、そこにおいて先生たちが手伝う、ちよつとヒントをあげたりして子どもたちが学ぶ、学べるいいアクティビティにすることが出来る、そこに大きな交流があります」と話されました。さらに「この交流は、先生と子どもたちが一緒に何かをして、一緒に問題を解決していくという意味の『思考共有支援』と言い、今回の視察でその良い例をたくさん見ることが出来、質の高い教育を見せてもらいました」とお話しいただきました。



## ☆異年齢交流☆

《毎日9:15~10:30まで異年齢で交流しながら遊びを楽しんでいます》

### 「プレイルーム」

アルピニオのハシゴなどの巧技台や大縄跳びで体を動かして遊んでいます。「一緒に遊ぼう」と優しく声をかけながら小さい子に関わる年中・年長児の姿が多く見られます。



### 「ゲームコーナー」

異年齢で一緒にゲーム遊びを楽しんでいます。ルールがわからない年少児は年中・年長児に教えてもらい、一緒に遊びながらルールを覚えていきます。



### 「アートコーナー」

置いてある様々な素材を組み合わせて、イメージを広げながら製作を楽しんでいます。

ます。毛糸を使ってリリアンや組みひも遊びをしている子は、作り方がわからない子に年長児と一緒に作りながら教えてあげています。



天秤のはかりを使い、ビー玉やおはじきの数を調整することで重さ比べをしています。OHPの投影を利用して白い布に四角や三角、丸型の透明のカラフルなアクリル板を映し出すことで、光と影の形や色合いを楽しんでいます。



### 「園庭コーナー」

大型遊具で体を動かしたり、異年齢で一緒にチームを作りサッカーを楽しんでいます。園庭のアートコーナーではどんぐりや松ぼっくり、木の枝などの自然物を使って造形遊びをしたり、瓦や石に水を浸した

筆を使って模様を描くなど、じつくりとイメージを広げながらアート活動を楽しんでいます。



### 「ナースリー プレイルーム」

天候が悪い日は屋内プールの底をふたにして、ナースリー児のプレイルームとして開放しています。ソフト積み木を並べてその上を橋のように渡ったり、ボールプールに入って存分に体を動かして遊んでいます。



### 「ランチルームコーナー」

毎朝、ランチルームで給食準備の手伝いをしています。「ふたば組の小さいお友達も食べるから、もつと小さくした方がいいよね」「このくらいのお大きさがよかったら食べられるかな?」など、食べる友達のことを思いながら、張り切って手伝っています。



☆星稜幼稚園

☆祖母と一緒にさつまいも掘り☆

10月30日(水)年長児が祖母の方々と一緒にさつまいも掘りに行きました。たくさんさつまいもを掘ってきた子どもたちです。

芋ほりの後は、園に戻り祖母の方々と一緒にさつまいもを食べました。その後、それぞれが芋を入りのお芋を見つけてうれしそうに持ち帰りました。



☆さつまいもクッキング☆

年長児が自分でちで掘ってきたさつまいもを使って「スイートポテト」を作りました。茹でたさつまいもに牛乳・砂糖・バターを入れ、つぶしてこねこね丸めて完成です。「おいしいね」と大満足の子どもたちでした。



☆焼きいもパーティー☆

男☆ほしの会 & 保護者会の方々と協力で、年長児が掘ってきたさつまいもで焼きいも作りをしました。

炭を燃やして木の枝や葉っぱに火をつけると、その中にさつまいもを入れ、じつくりと焼きあがるのを待ちます。

初めてみる焚火に「あったかいね」「燃えてる」と興味津々でした。焼きあがったさつまいもはホクホクでもおいしいかったです。

焼きいものほか、保護者会の方々が作ってくれた焼きそばもふるまわれました。



☆アナウンサーの読み聞かせ☆

8月22日(木)社会貢献事業の一環で、北陸朝日放送の森重有里彩アナウンサーと菅井智絵アナウンサーが絵本の読み聞かせをしてくださいました。1歳児から5歳児の園児を対象に、2冊の大型絵本と手遊びをしてくれました。表現や表情豊かな読み聞かせと歌声に、子どもたちは一緒に歌ったり時には笑ったりしながら楽しみました。3歳児から5歳児には輪島朝市の活気ある風景を描いた「あさいち」(えい 大石可久也 かたり 輪島・朝市の人びと)の絵本を読み聞かせしてくれました。情緒ある輪島の方言での読み聞かせに、子どもたちは絵本の世界に引き込まれていました。



## ☆保護者会主催「段ボールハウス作り」☆

9月7日(土)、保護者会イベントの、段ボール親子工作『かぞくでつくろう ゆめのうち』が行われました。4歳、5歳児の家族20組が参加しました。課外活動絵画講師大宮弘一先生と一緒に段ボールハウス作りをしました。いろいろな大きさの段ボールを組み合わせたり、段ボールカッターを使って窓やドアを作ったり、家族でそれぞれ工夫しながら楽しんで作っていました。2回目の段ボール親子工作と言うこともあり、設計図を書き、作りたいものをイメージして参加する子もいました。エッフェル塔、お店屋さん、車などの素敵な作品がたくさんできあがりました。



## ☆段ボールハウス楽しいな! ☆

プレイルームやフロアに置いてある段ボールハウスに、1, 2, 3歳児は興味津々。タフロンテープで中が見えにくいと、隠れ家みたいで何だかワクワク。お友達と入って秘密の相談をしています。アイスクリーム屋さんでは「どれにしますか?」「いちごアイスもありますよ」とお店屋さんになりきっています。段ボールのドアを開けて出たり入ったり...。素敵なお家にみんなとても楽しそうでした。



## ☆ジャズコンサート月☆

10月25日(金)、園児の保護者が所属している3人組JAZZバンドQ's Trioによるコンサートが行われました。ギター、トランペット、コントラバスが奏でる音色とリズムに、お迎えに来た保護者の方も足を止めて聴きいっていました。子どもたちの知っている「やきいもグーチーパー」では一緒に歌い楽しんでいました。「星に願いを」は保護者も子どもも、うっとり聴いていました。心が豊かになるひと時でした。



金沢星稜大学女子短期大学部 経営実務科  
平泉 沙由里 助教

私は2022年から星稜に着任し、今年3年目を迎えています。専門は起業家の研究で、ゼミでは北陸の起業家に関するビジネスなどについてヒアリングしています。これを通して「人とのつながり」がいかに社会で大切な学んでほしいと考えています。もちろん成功体験を知って、仕事自体や起業に興味を持ってほしいとも願っていますが、それ以上に学生のうちから人との縁がどれだけ大切かを学べるよう心掛けています。また、一般教養ではキャリアデザインを担当し、将来設計の重要性を教えています。

こうした指導をする理由は、私自身も起業家からです。20代に起業して以来、学習支援業の会社経営者でもあります。今は大学の仕事に専念するため夫に経営を任せていますが、

新卒で銀行に就職したものの、学生時代に家庭教師をしていたこともあり、「自分にしかできず、人に感謝されて、人の記憶に残る仕事がない」と考え起業に至りました。

起業以来、順調に仕事を続けていましたが、「経営者の集大成として何が残せるか」と考えたとき、改めて経営学を学びたいと思う大学院に進みました。多くの先生や起業家の方から刺激を受ける中で、

## 失敗を恐れないう指導し、 頼りにしてもらえる存在に。

私自身の経験を広く伝えることが起業家育成につながり、ひいては地方創生・地域活性化が期待できるのではと考えようになり、大学教員を志しました。そんな折に星稜と縁があり、今に至っています。

### 正しい情報を 見極められる指導を

学生の指導では、「正しい情報」について教えるようにしています。今の時代は情報過多で、誤った情報も少なくないため、何が正しいか見極める目が不可欠です。ゼミのサブテーマを「正しく調べる」としているほどで、その姿勢が身につけば、学生たち自身も正しい行動ができるようになりますし、社会人になっても甘言に騙されないのでしょう。そして自分の頭で情報の正誤を考えられる思考力や、自分の言葉で表現できる力も育てたいです。

また、学生には失敗を恐れないでほしいと伝えています。今の学生たちは失敗を極度に怖がり、消極的とすると感じることもあります。しかし失敗は成功の母と言うように、まず挑戦しなければ



指導を通して、建学の精神「誠実に社会に役立つ人間の育成」が実現できるよう努めています。

何も始まりません。授業などでも、失敗を嘲笑しない環境づくりに努め、皆で一緒に成長できる場を築いています。

一方で、授業を離れると学生たちとは垣根なく付き合うよう心掛けています。食事に行ったり恋愛相談に乗ったりすることもありますが（笑）。将来社会に出たときに頼られる存在でありたいと考えており、卒業生とも頻繁に連絡をとっています。社会人生活は変化の連続で決して楽ではありませんが、「あなたのことを気にかけている人がいる」と感じてもらいたい。そうすれば社会人として頑張ることもできるでしょう。

また、私自身も学者として一歩前に進めるよう、今年、日本私立学校振興・共済事業団の「2024年度若手・女性研究者奨励金」に応募し、採択いただきました。研究成果を学生に還元して、これからも皆と一緒に成長していけるよう尽力します。



学生が何でも話しやすい環境をつくりたいと思い、親しく接しています。研究室には気軽に遊びに来てくれる人も少なくありません。

公務員採用試験94名、教員採用試験83名最終合格!

(2024年12月19日現在、現役学生合格者延べ人数)

◎公務員採用試験(大学)

1次試験合格率:91.4%  
(行政・公安職 91.1%、保育士 100.0%)  
2次試験合格率:83.0%  
(行政・公安職 82.2%、保育士 100.0%)

公務員採用試験合格者数:73名  
(行政職 44名、公安職 24名、外郭団体 2名、保育士 3名)

行政職

|              |    |
|--------------|----|
| 国家公務員一般職(大卒) | 8名 |
| 国税専門官        | 7名 |
| 裁判所職員一般職(大卒) | 2名 |
| 石川県(行政)      | 9名 |
| 金沢市(事務)      | 4名 |
| 羽咋市(一般事務)    | 1名 |
| 白山市(行政)      | 1名 |
| 能美市(行政)      | 1名 |
| 津幡町(一般事務)    | 1名 |
| 富山市(行政)      | 3名 |
| 滑川市(一般行政)    | 1名 |
| 射水市(行政)      | 1名 |
| 高岡市(事務)      | 1名 |
| 小矢部市(一般行政)   | 2名 |
| 南砺市(一般行政)    | 1名 |
| 入善町(一般行政)    | 1名 |

公安職

|              |    |
|--------------|----|
| 皇宮護衛官        | 1名 |
| 自衛隊一般曹候補生    | 1名 |
| 自衛隊自衛官候補生    | 1名 |
| 石川県警察官(男性)   | 2名 |
| 石川県警察官(女性)   | 3名 |
| 富山県警察官(男性)   | 3名 |
| 富山県警察官(女性)   | 3名 |
| 警視庁警察官I類(男性) | 2名 |
| 警視庁警察官I類(女性) | 3名 |
| 埼玉県警察官(男性)   | 1名 |
| 大阪府警察官(女性)   | 2名 |
| 京都府警察官(女性)   | 1名 |
| 愛知県警察官(女性)   | 1名 |

保育士・幼稚園

|             |    |
|-------------|----|
| 立山町(保育士)    | 1名 |
| 東京都特別区(保育士) | 1名 |
| 浦安市(幼稚園)    | 1名 |

特殊法人・外郭団体

|           |    |
|-----------|----|
| 国立大学法人等職員 | 1名 |
| 石川県信用保証協会 | 1名 |

※合格者数は最終合格者の延べ数(現役学生のみ)  
※合格率はCDP受講者に対する割合(現役学生のみ) 2024年12月19日現在

◎教員採用試験(現役学生)

1次試験合格率:90.7%  
(小学校 100.0%、中高保健体育 57.1%、中高英語 75.0%)  
2次試験合格率:88.4%  
(小学校 96.9%、中高保健体育 42.9%、中高英語 100.0%)

教員採用試験合格者数(4年次):83名  
(小学校 73名、中高保健体育 4名、中高英語 6名)

小学校

|           |     |
|-----------|-----|
| 石川県公立小学校  | 23名 |
| 富山県公立小学校  | 18名 |
| 福井県公立小学校  | 5名  |
| 新潟県公立小学校  | 4名  |
| 東京都公立小学校  | 1名  |
| 千葉県公立小学校  | 1名  |
| 神奈川県公立小学校 | 2名  |
| 川崎市公立小学校  | 8名  |
| 静岡県公立小学校  | 6名  |
| 愛知県公立小学校  | 1名  |
| 滋賀県公立小学校  | 2名  |
| 京都府公立小学校  | 2名  |

中学校・高校

|                 |    |
|-----------------|----|
| 石川県公立中高保健体育     | 1名 |
| 富山県公立中高保健体育     | 1名 |
| 神奈川県公立中高保健体育    | 1名 |
| 大阪府豊能地区公立中高保健体育 | 1名 |
| 石川県公立中高英語       | 4名 |
| 富山県公立中高英語       | 1名 |
| 川崎市公立中高英語       | 1名 |

◎公務員採用試験(短大)

1次試験合格率:93.3%  
2次試験合格率:60.0%

公務員採用試験合格者数:21名

|              |    |
|--------------|----|
| 国家公務員一般職(高卒) | 5名 |
| 税務職員         | 1名 |
| 裁判所職員一般職(高卒) | 2名 |
| 石川県(行政)      | 2名 |
| 石川県(小中学校事務)  | 4名 |
| 金沢市(事務)      | 1名 |
| 白山市(行政)      | 2名 |
| 津幡町(一般事務)    | 1名 |
| 内灘町(一般行政事務)  | 1名 |
| 志賀町(事務)      | 1名 |
| 能登町(行政事務)    | 1名 |

◎教員採用試験(卒業生)※実数

|            |     |
|------------|-----|
| 公立小学校／公立中高 | 15名 |
|------------|-----|



[2024年11月、4年次による合格者体験談]

## 星稜高等学校出身者の声

### 石川県(行政)合格



鈴木 愛実さん  
経済学部 経済学科

公務員試験は民間企業に比べ採用時期が遅いため、同級生の就職活動が終わっていく中で自分は頑張らなくてはいけない状況が辛く感じることもありましたが、しかし、合格したときは、今まで精一杯努力した分とてもうれしく、解放感や充実感がありました。県職員の仕事は、異動が多く多様な分野の仕事を経験できるため、全く異なる分野に携わり、それまでの仕事とは違ったやりがいを見つけることができるところに魅力を感じています。CDP講座は早くから講座が始まるため、少しずつ計画的に勉強を進めることができるので、余裕を持って取り組んでください。

### 金沢市(事務)合格



大塚 麻友さん  
経済学部 経済学科

勉強に本腰を入れ始める時期が遅く、学習時間がなくなってしまう、周りと比べて焦りを感じていました。それでも、「まだ間に合う!」と自分に言い込ませてたくさんの授業動画を視聴したり、模試の解き直しをしたりして追いつけるように全力で取り組みました。講義動画は、先生方が丁寧に解説してくださる、学びがより深まりました。自分のペースで学習することができたところも良かったと思います。金沢星稜大学では、自分の興味があることや学びたいことをより専門的に学べます。努力を続けばきっと結果はついてくるので、ぜひ最後まで挑戦してください。

### 石川県公立小学校教員合格



元角 沙羽さん  
人間科学部 こども学科

高校時代の恩師に憧れを抱いたことが教員を目指すようになったきっかけです。小学校での学習支援や教育実習を通じて様々な先生方と関わっていく中で、「私も石川県で先生方からたくさん学ぶたい!」という気持ちが強くなり、石川県の小学校教員を志望しました。在学中は、小学校やひとり親家庭での学習支援をはじめ、震災復興支援などボランティア活動に最も力を入れました。高校までは、部活動で個人の成績を伸ばすことに注力していましたが、大学では「誰かの役に立ちたい」という気持ちで行動できるようになったことが成長だと感じています。

### 石川県公立小学校教員合格



寺本 陽乃さん  
人間科学部 こども学科

合格通知を受け取った瞬間、心からの喜びがあふれました。これまでの人生の中で最も重要な分岐点であり、努力が報われたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。この経験を通じて、自分の成長を実感し、これからの新しい挑戦に対する自信と期待が高まりました。小学校教員は、児童の些細な成長を児童と一緒に喜ぶことができ、それが自分の仕事のやりがいにつながる素晴らしい職業です。児童が自信を持って学び続けられるよう、一人ひとりの成長を共に喜び合い、温かく支え、励ます存在でありたいと考えています。

### 石川県公立小学校教員合格



原田 恵実さん  
人間科学部 こども学科

姉が金沢星稜大学を卒業しており、CDPは教員を目指す人に非常に適した環境だと聞いて、私も入学を決めました。合格したときは、それまで本気で取り組んできた自信を持って言えることがなかったのですが、努力が報われて本当にうれしかったです。また、周りの皆さんの人に応援してもらっていたので、合格できたことを伝えられて安心した気持ちもありました。教員を目指す上で、うれしい気持ちや挫折しそうなことなど様々な経験をするといいと思います。しかし、最後まで諦めずに自分の気持ちに従って努力をすれば、後悔なく充実した大学生活を過ごすことができるはずです。応援しています。

### 石川県公立小学校教員合格



松崎 未歩さん  
人間科学部 こども学科

教員を目指したきっかけは、小学校時代に「目標をもって努力することの大切さ」を教えてくれた恩師に出会ったことです。大学生生活においてたくさんの児童と関わる中で、一人ひとりがそれぞれの目標に向かって頑張っている姿を応援したいという気持ちが高まりました。受験期は、うまくいかないこともありましたが、どんな時も支えてくれる仲間がいたことで乗り越えることができました。教員は小学生のときからの夢だったので、合格発表を見たときはとてもうれしかったです。応援してくれていた家族の顔が一番に思い浮かび、早く報告したいという気持ちでした。

### ～その他星稜高校出身者の合格～ 国家公務員一般職(北陸農政局)1名

※本人の希望により、掲載を控えさせていただきます。

CDP累計合格者数 1,263名(実数)

大学公務員 541名、短大公務員 95名

保育士公務員 64名

教員 511名(現役合格351名、既卒合格160名)

税理士 52名

2024年12月19日現在

### 金沢市(事務)合格



櫻井 結子さん  
短期大学部 経営実務科

内定をいただいた際はとてもうれしく、すぐに母に電話をしました。私が、私よりも母がうれしそうにしていました。合格を伝えた後の母や友人の言葉がとてもうれしく、内定をいただけたのは自分ひとりの力ではなく周りの協力があったからだ改めて認識しました。金沢は生まれ育った地であり、友人も多く、家族も先祖代々金沢のため、私も生涯金沢で暮らしたいと思っています。家族や友人、自分のためにも金沢を今より暮らしやすい街にし、子どもから高齢者まで全ての人が暮らしたいと思える街にしたいです。後輩の皆さんも、自分を信じて諦めない心を持ち、最後まで頑張ってください。

## 北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



株式会社北國フィナンシャルホールディングス

人材開発部 人材開発グループ

坂井 駿哉

(星稜高等学校 第43期卒)

### 努力の大切さを学べた、 星稜での経験が「人生の柱」です

私は平成19年に星稜高校を卒業し、その後県外の大学を経て平成23年に北國銀行に入行しました。東日本大震災直後の社会や経済が混乱する中、新社会人としてのスタートを切ったことを今でも鮮明に覚えています。

北國銀行では法人担当のアカウントマネージャーとして、多くのお客様と関わりながら経験を積んできました。経営者の方々と対話を重ねる中で、多様な価値観に触れ、成長することができました。お客様に真摯に向き合えたことは、私にとってかけがえない財産です。

令和6年3月からは、北國フィナンシャル

ホールディングスの人材開発部へ異動し、キャリアの転換期を迎えました。社員一人ひとりがキャリア自律し、働きがいのある会社を目指して日々業務に取り組んでいます。人事部門で働きたいという思いがあったのでこの機会に感謝し、当社ならびに地域の発展に寄与できるよう尽力していきたいと考えています。

ここで思い出すのは、高校受験に失敗した私を支えてくれた一年時の担任、山口先生の存在です。先生の励ましのおかげで、諦めることなく努力する大切さを学びました。その経験は大学進学や北國銀行への入社、そして現在に至るまで私の原動力となっています。

星稜高校の建学精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を通じて身につけた誠実さは、私の人生の柱です。この精神は当社社員が目指すべき姿である「インテグリティ（正直・素直・誠実な人）」とも共通しており、日々の仕事や生活においても誠実さを大切に取り組んでいます。

学生の皆様におかれましては、現在の学びや経験が将来必ず役立つと信じて、誠実さを大切にしながら目標に向かって前進してください。その努力が実を結び輝かしい未来が訪れることを心より応援しています。最後に、星稜高校に関わる全ての方々のご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

豊かな明日へ、信頼の架け橋を。

これからも地域の皆さまのお力になれますよう

そして、豊かな未来へと一緒できますよう

この時代の今を全力で支えてまいります。

Quality Company, Good Company.

 北國フィナンシャルホールディングス

# 総合研究所

## SDGs産学地域連携センターだより



### 総合研究所

#### 能登半島地震の復興支援を 題材とした市民講座を実施！

金沢星稜大学は地域に開かれた大学として、教育と研究の成果を地域社会に還元するために、公開講座などを通して地域の皆様に対し、広く学びの場を提供しています。

【第1回：9月21日（土）】「能登半島地震の避難所におけるeスポーツの取り組みと障がいと関わりない家庭用ゲーム利用の可能性」（講師：金沢星稜大学 人間科学部 教授 新谷 洋介）  
この講座では、「能登半島地震の避難所」「eスポーツの取り組み」「障がいと関わりない家庭用ゲームの利用」の3つのキーワードを元にお話しをしました。はじめに、eスポーツの解説を行い、能登半島地震で避難所にいる方々の状況及び復興支援としてのeスポーツ・ゲームを利用した活動を紹介しました。また、実際にeスポーツ・ゲームを体験いただきました。

【第2回：9月28日（土）】「能登半島地震の創造的復興：『能登駅伝』の復活開催を目指してー1970年代の3大学生駅伝『能登駅伝』を知らうー」（講師：金沢星稜大学 学長 大久保 英哲）  
1970年代、日本の大学三大駅伝といえる「箱根駅伝」「伊勢駅伝」そして「能登駅伝」でした。能登駅伝は、1968年～1977年にわたり開催され、3日間26区間（341km）のコースで最長最大規模の駅伝であり、日本一過酷なレースと言われていたのです。

元旦の令和6年能登半島地震の発生で能登は甚大な被害を受けましたが、「能登駅伝」を復活させ、全国の若者たちが沿道の応援と建設の槌音を聞きながら、その力強い足音を響かせ、一步一步能登の大地を踏みしめ、鎮魂と復興の想いを刻んでくれれば、能登半島地震の象徴的復興になるのではないかと講座を締めくくりました。

【第3回：10月5日（土）】「能登半島地震の創造的復興：『能登駅伝』の復活開催を目指してー当時のコースを踏査しようー」（講師：金沢星稜大学 人間科学部 元特任講師 親谷 均二）  
第2回市民講座での大久保学長の「能登駅伝」の講義を受けて、「能登駅伝」に北信越チームとして4度走った親谷均二氏に解説してもらい当時のコースを踏破しました。



SDGs産学  
地域連携センター



総合研究所

### SDGs産学 地域連携センター

#### 能登半島地震復興 支援活動として ボランティア活動を実施！

珠洲市・被災者の方々との交流

9月6日（金）、珠洲市社会福祉協議会、珠洲ささえ愛センターと本学SDGs産学地域連携センターが連携し、珠洲市にてボランティア活動を行いました。大学、短大部の学生、教職員が珠洲市の若山公民館を訪問し、能登地震で被災された方々を元気づけたいと健康体操、ミサンガづくり、写真立ての飾り付けなどのコーナー企画やお話などで有意義な時間を過ごしました。



#### 能登町・自然体験施設の山道修復

10月12日（土）、本学の学生5名と教職員4名が能登半島地震復興支援の一環として、能登町の自然体験施設「ケロンの小さな村」でのボランティア活動を行いました。

1月1日の能登半島地震で崩れた敷地内の山道などを、ボランティア団体「森のたね」の方々の指導の下、地元の「緑の少年団」の小学生とその保護者と一緒に、木の枝や落ち葉を利用した修復作業を行いました。

また、11月10日（日）には「ケロンの小さな村」の敷地内にある小高い山の上に桜でつなぐ回廊をつくるプロジェクトに参加し、本学の教職員5名が植樹を行いました。また、桜の根元には、植樹記念に大学名が入ったプレートを設置しました。



## 2017年度 経営学科卒業生 山本 正樹さん 公認会計士試験に合格！

### 合格までの道のり

高校時代に取得した日商簿記検定を生かしたいと思い、税理士を目指して金沢星稜大学に進学し、CDP講座を利用しました。2年次の夏休みに日本一周の旅で初めて日本一高い富士山を目にしたことが転機となり、「この山のように、自分も日本一を目指したい」と考え、公認会計士への挑戦を決意しました。その後、大学院に進学して受験勉強に通算3年半取り組みましたが成果は出ず、就職を機に一度試験から離れることを選びました。しかし、4年間のサラリーマン生活を経て「もう一度挑戦したい」という思いが強くなり、1年間学習に専念するため退職。そしてついに、合格することができました。

### 公認会計士は社会人のパスポート

公認会計士資格は「三大難関資格」とも呼ばれていますが、私はこれを「社会人のパスポート」と考えています。合格後は、さらに多くの仕事や会社に携わる機会が増え、キャリアの面でも新たなチャンスや可能性が広がりました。学生時代の失敗や遠回りも、貴重な経験の一部です。今しかできないことを思い切り楽しみながら、自分の目標を見つけ、在学生の皆さんも一歩を踏み出してください！



2018年3月 金沢星稜大学 経済学部経営学科卒業  
2019年3月 早稲田大学大学院(会計研究科)卒業  
2020年4月 M&A 仲介業務に従事  
~2023年8月  
2024年8月 公認会計士試験(論文式) 合格

## ご支援のお願い

平素より、多大なるご支援・ご寄付を賜り、厚く御礼申し上げます。  
また、「令和6年度能登半島地震」に際して、心あたたまるご支援を頂戴いたしましたこと、心より感謝いたします。  
皆様から賜りましたご厚志は、園児・生徒・学生のために有効に活用させていただきます。

皆様から頂戴した寄付金は、以下のような目的で活用させていただきます。

1. 学生・生徒への奨学金
2. 教育・研究活動への支援
3. 課外活動への支援
4. 国際交流に関する支援
5. 修学・保育環境及び教育・研究等設備の整備への支援

インターネットからのお申し込みもご利用いただけます。  
ご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

寄付の詳細については  
ホームページをご覧ください



Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部  
石川県金沢市御所町丑10番地1  
TEL 076-253-3924 (代表)  
(大 学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>  
(短大部) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校  
石川県金沢市小坂町南206番地  
TEL 076-252-2237 (代表)  
<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園  
石川県金沢市御所町寅27番地  
TEL 076-252-5057 (代表)  
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園  
石川県金沢市泉野町6丁目17番30号  
TEL 076-244-5636 (代表)  
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/>

バックナンバーを、  
ホームページにて公開しています。  
<https://www.seiryu.jp/magazine/>

